

産科婦人科

【実習目標】

1. 病棟診療、外来診療を体験し、妊産婦や婦人科疾患患者への対応、診察法などを理解する。
2. 疾患の診断や治療法決定のプロセスを具体的に理解する。
3. 超音波検査法を見学し、実際の画像と病態を関連づける。
4. 手術に参加し、骨盤内臓器の局所解剖を理解するとともに手術の基本的な手技を習得する。
5. 病棟回診に参加し、患者の訴えや闘病生活の実態を把握し、それへの対応を理解する。

【実習内容】

金 (前週)	ガイダンス（前週実習終了後）： 臨床実習（病棟実習、手術見学、外来実習）の概要説明、指導医の決定、手術症例・課題の振り分け、院外実習説明
月	症例検討会、臨床実習、講義（第1週：産婦人科手術、第2週：婦人科画像診断）
火	臨床実習、院外実習（県立広島病院）
水	臨床実習、講義（第1週：遺伝子診療、第2週：胎盤の生理） 症例検討会・教授回診（15時～）
木	臨床実習 院外実習（県立広島病院、広島赤十字・原爆病院、東広島医療センター）
金	症例検討会、臨床実習、講義（第1週：新生児蘇生法、第2週：CTG） 実習総括：担当課題のプレゼンテーション（15時～）

【注意事項】

1. 前週の金曜日の実習終了後（17時頃）、実習の概要を説明する。実習担当症例と院外実習病棟の割り振りなどのガイダンスを行うので、全員で4階東病棟（産婦人科病棟）に来ること。月曜日までに割り当てられた担当症例と疾患については必ず予習をしておくこと。
2. 月曜日は8:15に4階東病棟カンファレンスルーム2に集合すること（時間厳守）。指導医の紹介と症例検討会を行う。
3. 月曜日の症例検討会終了後は、各自指導医の指示に従い、受け持ち患者を通じて臨床実習を終日行う。午後は4階東病棟カンファレンスルームにて臨床講義を行う（時間確認）。毎日実習終了後は、指導医より翌日の予定（集合場所、集合時間、実習内容）を確認する。
4. 水曜日15時から4階東病棟カンファレンスルーム2で症例検討会と教授回診に出席する。
5. 金曜日は8:15に4階東病棟カンファレンスルーム2にて症例検討会に参加。臨床講義と総括が実施される（時間確認）。総括では担当課題についての発表と討論を行い、臨床実習の評価を行う。総括は全員参加で行い、担当者は第1週と第2週に分けて割り振られる。
6. 院外実習は、火曜日：県立広島病院（1名）、木曜日：県立広島病院、東広島医療センター、広島赤十字・原爆病院（各1名）にて実施する。
7. 分娩及び緊急手術の見学希望者は、曜日や時間に制限なく実習できるので、予め指導医にその旨と連絡先を知らせておくこと。
8. 病棟実習は原則として17時までとする。

【評価方法】

1. 外来実習、手術実習、分娩実習、症例発表、症例レポートにつき、各20点、計100点で評価する。
2. 見学対象となる分娩症例がなかった場合は、担当症例発表にその点数を振り分ける。
3. 実習態度、見学症例の理解度、担当疾患の予習内容などを加味して、総合的に評価する。
4. 正当な理由のない欠席、遅刻は減点対象とする。

【担当教官】

広島大学大学院医歯薬保健学研究院	産科婦人科学	教授	工藤 美樹
広島大学大学院医歯薬保健学研究院	産科婦人科学	助教（診療講師）	平田 英司
広島大学病院	産科婦人科	助教	兵頭 麻希
広島大学病院	産科婦人科	助教	占部 智
広島大学病院	産科婦人科	助教	古宇 家正
広島大学大学院医歯薬保健学研究院	産科婦人科学	助教	杉本 潤

【連絡先】 広島大学大学院 産科婦人科学 占部智

E-mail : surabe@hiroshima-u.ac.jp 内線（医局）：5262